

「港南ひまわり音頭」

〔振付〕 横 原 保 夫

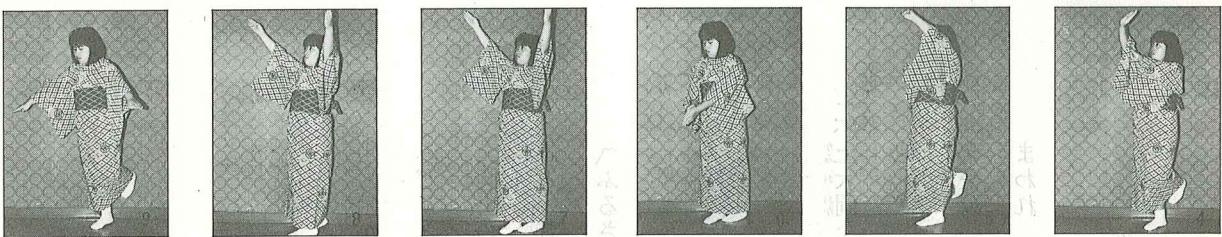
- ◎ 誰にでも踊れるように振り付けました。
- ◎ 行進にも、盆踊り風にも踊れます。
- ◎ 一列円陣を作り、反時計回りの方向に踊り進みます。



- 四つ…**
左足前進、一寸体を開いて、
両手胸前より、左手前方、
右手後方に開く。(第3図)

- 一つの、二つの…**
右足前進、一寸体を開いて、
両手胸前より、右手前方、
左手後方に開く。(第2図)

- チヨチヨンがチヨンと拍手をする。(第1図)**



- 五つの、六つの…**
右足より三歩前進、四歩目の左足を一寸あげ、右頭上半円を作る。(第4図)

- 七つの、八つの…**
左足より三歩前進、四歩目の右足を一寸あげ、左頭上半円を作る。(第5図)



- 十四…**
右足を左足に揃え、チヨンと拍手をする。

- 十五…**
右足前進、右手体前にのばし、左手をかざす。(第10図)

- 九つ…**
右足前進、左足を一寸あげ、はずむように、両手下方より、チヨンと拍手をして、上方にあげる。(6・7図)

十の…

- 左足前進、右足を一寸あげ、はずむように、両手下方より、チヨンと拍手をして、上方にあげる。(第8図)**

十一、十二…

- 九つ、十の**の動作をくりかえす。
(註)「九つ、十二」の動作をしながら、その場で、右方に一回りするとよい。

十三…

- 右足前進、両手斜下方に開く。(第9図)**



- 十七、十八…**
右足より三歩前進、一足となり両手頭上円を作る。(第12図)

「港南ひまわり音頭」

の制作にあたって

ふるさと港南の意識を高め、ふれあいの輪を広げるために、唄いやすくまた踊りやすいことを第一に制作いたしました。

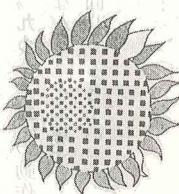
この音頭がいつまでも区民の皆さんに親しまれ、それがふるさとづくりのかけ橋となるよう心から念願しております。

昭和六十年十月
港南区民まつり実行委員長 北見龜代次
横浜市港南区長 関 良制

えんかい一さんからみる一ま一ちは
みどりとひかりのいろもよーう
おおかがわのみずのこえだれとむかしをかたるやら
ふるさとこうなーんひまわりおんど
うたうえがおがはなになるおどるすがたがはなになる

港南ひまわり音頭

港南区の花
ひまわり



一、円海山から見る街は

みどりと光の彩模様

大岡川の水の声

誰と昔を語るやら

へふるさと港南ひまわり音頭

四、ひまわりあじさい

どの娘もきれいな花盛り

みとれて抱いた恋ごころ

嫁に欲しいと風が吹く

二、上大岡なら

地下鉄

バスまで

はねる

まわれ

若さが

夏まつり

逢いにくる

五、港南じまんにや

青空 太陽 ニュータウン

みんなの燃えるこころ意氣

明日のヨコハマしょつて立つ

三、知らない同志のふれあいが

手と手をつなぐ輪を広げ

好きなふるさと街づくり

心の通じる友になる

おとこ作詩 石本美由起
まほ 作曲 市川昭介
この編曲 佐伯亮
いつあ第一歌 松原のぶえ

企画・制作: 港南区民まつり実行委員会、港南区役所

協力: 横浜港南ライオンズクラブ、横浜リバティライオンズクラブ
横浜港南みなみライオンズクラブ、横浜港南ロータリークラブ